

単
元
名

びわ湖からSDGs ～ 変えよう、あなたと私から ～

○ 小学校 (5) 年 教科等 (総合的な学習の時間・国語・社会)

○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

(教科等で付けたい力)

- ・MLGs (Mother Lake Goals) のゴールに向けて、自分ができると考え、発信できる力。
- ・MLGs のゴールについて学べる場所を調べ、発信できる力。
- ・自分の言葉で他者に発信することができる力。

(学校図書館等の活用で付けたい力)

- ・びわ湖について調べ、自分ができるとことや、学びたい場所を考えることができる。

○ この単元における学校図書館を活用した情報活用能力の育成に向けて

- 情報収集…自分が選んだゴールが設定された理由を知るために、資料やタブレットで調べ、資料を集める。
- 整理・分析…自分が選んだゴールの設定理由や、現状を分かりやすくまとめる。
ゴールに向けて、自分ができると考える。
ゴールについて学べる施設や場所を、びわ湖周辺で調べる。
- まとめ・表現・発信…ゴールごとに、各自が整理・分析したものを持ち寄り、情報を深める。
必要なメッセージを考え、フレンド学級に発信する。

○ 学習の展開 (全8時間)

第1次(3時間)☆ ①社会 ②③総合的な学習 の時間	① びわ湖版SDGsのMLGsについて知り、調べてみたいゴールを選ぶ。 ② ③ タブレットや資料を活用し、ロイロノートに各ゴールの現状をまとめる。
第2次(2時間)☆ ①②総合的な学習 の時間	① ゴールに向けて、自分ができると考える。 ② ゴールについて学べる施設や場所を、びわ湖周辺で調べ、選ぶ。
第3次(3時間)☆ ①国語 ②③総合的な学習 の時間	① ② 伝えたい人に発信するために必要なメッセージを考え、準備をする。 ③ 「びわ湖MLGsアクション」の報告会をする。

☆学校図書館等活用(本時)の学習

本時のねらい
・タブレットや資料を活用し、ロイロノートに各ゴールの現状をまとめる。

学習展開

時間(分)	主な学習活動	指導上の留意点
5	1. MLG s のゴールを確認する。	・MLG s の 13 のゴール(目標)を掲示する。
	<p>< 13 のゴール > ①清らかさを感じる水に ②豊かな魚介類を取り戻そう ③多様な生き物を守ろう ④水辺も湖底も美しく ⑤恵み豊かな水源の森を守ろう ⑥森川里湖海のつながりを健全に ⑦びわ湖のためにも温室効果ガスの排出を減らそう ⑧気候変動や自然災害に強い暮らしに ⑨生業・産業に地域の資源を活かそう ⑩地元も流域も学びの場に ⑪びわ湖を楽しみ愛する人を増やそう ⑫水とつながる祈りと暮らしを次世代に ⑬つながりあって目標を達成しよう</p>	
20	2. 本やインターネットを使って、現状について調べる。 ・現状に関わる事象を、複数の資料を用いて調べること で、多面的に考えていく。	インターネット検索のために、複数のサイトをパスファインダーに載せておく。 びわ湖だけでなく、環境全般に関わった資料を揃えておく。
15	3. 調べたことを、シンキングツールにまとめていく。	・言葉、写真や図を中心に、ひとめでわかる工夫をさせる。
5	4. 現状を改善していくために自分たちに何ができるかを考え、次時につなげる。 ・キーワードに基づいて具体的に考える。	・「自分が」「楽しく」「必ずできる」ことを考えさせる。



MLG s ゴールの現状について調べる (第1次)

自分たちにできることを考える。(第2次)